

農林水産・食品分野の公募情報（2021年2月10日）

2月3日以降の新規の情報を赤字で示しています。

【研究開発関連】

■省庁等

- ・農林水産省（技術会議事務局）：「令和3年度 農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究」

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/210108.html>

分野等：

1. 現場ニーズ対応型研究
 - 1) AI 画像解析等による次世代穀粒判別器の開発
 - 2) さとうきびの多回株出機械化一貫体系及び省力製糖技術の確立
 - 3) 畜産生産の現場に濃厚飼料を安定・低コストに供給できるシステムの開発
 - 4) ため池の適正な維持管理に向けた機能診断及び補修・補強評価技術の開発
 - 5) AI 等の活用による利水と治水に対応した農業水利施設の遠隔監視・自動制御システムの開発
 - 6) 管理優先度の高い森林の抽出と管理技術の開発
2. 革新的環境研究
 - 1) 脱炭素型農業実現のためのパイロット研究プロジェクト
 - 2) 炭素貯留能力に優れた造林樹種の効率的育種プロジェクト
3. アグリバイオ研究
 - 1) 健康寿命延伸に向けた食品・食生活実現プロジェクト
 - 2) 植物遺伝資源の収集・保存・提供の促進

公募期間：2021年1月8日～2月26日

- ・農林水産省（技術会議事務局）：「令和3年度二国間国際共同研究事業（ロシアとの共同公募に基づく共同研究分野）」

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/210112.html>

分野等：

以下の研究領域に関する課題を公募する。

1. バイオテクノロジー（Biotechnology）
2. 動物衛生（Animal Health）
3. 植物病虫害（Plant Pest and Disease）
4. 森林管理（Forest Management）
5. 野菜生産技術（Vegetable Production）

公募期間：2021年1月12日～2月26日

- ・農林水産省（技術会議事務局）：「令和3年度 農林水産分野の先端技術展開事業のうち研究開発」

https://www.affrc.maff.go.jp/docs/sentan_gijyutu/R3koubo_1.htm

分野等：

（農業分野）

1. 稲作の大規模化・省力化に向けた農業用水利施設管理省力化ロボットの開発
2. 見える化技術を活用した土壌肥沃度のばらつき改善技術の開発
3. ICT技術・放牧を活用した肉用繁殖雌牛管理技術の効率化システムの開発

（林業分野）

4. 3Dスキャナ等搭載ドローンと深層学習を活用した帰還困難区域等の森林資源利用システムの開発

公募期間：2021年2月1日～3月1日

- ・農林水産省（技術会議事務局）：「令和3年度 農林水産分野の先端技術展開事業のうち現地実証研究」

https://www.affrc.maff.go.jp/docs/sentan_gijyutu/R3koubo_2.htm

分野等：

（農業分野）

1. 特定復興再生拠点区域等の円滑な営農再開に向けた技術実証
2. 広域エリアを対象とした大規模水田営農における生産基盤技術の確立
3. 先端技術を活用した施設野菜・畑作物の省力高収益栽培・出荷技術の確立

（水産業分野）

4. 多様な漁業種類に対応した操業情報収集・配信システムの構築

5. ICT インフラを用いた効果的な種苗放流による資源の安定化

公募期間：2021年2月1日～3月1日

- ・農林水産省（技術会議事務局）：「令和3年度放射性物質測定調査委託事業」
https://www.maff.go.jp/j/supply/itaku/kenkyu_kaihatu/index.html
分野等：福島県及びその周辺における農畜産物及び土壌の放射能汚染レベルの動向把握
公募期間：2021年2月5日～4月7日
- ・農林水産省（技術会議事務局）：「令和3年度放射能調査研究委託事業のうち「農林生産環境中における放射性核種の濃度変動の要因と動態の解明」」
https://www.maff.go.jp/j/supply/itaku/kenkyu_kaihatu/index.html
分野等：農林生産環境中における放射性核種の濃度変動の要因と動態の解明
公募期間：2021年2月5日～4月7日
- ・農林水産省（消費・安全局）：「令和3年度安全な農畜水産物安定供給のための包括的レギュラトリーサイエンス研究推進委託事業のうち短期課題解決型研究」
https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/gi_jyutu/210128.html
分野等：
 1. 乳児用調製乳中のクロロプロパノール類及び関連物質の高感度分析法の開発
 2. 農業用水中に含まれる大腸菌を対象とした簡易検査法の開発
 3. 牛伝染性リンパ腫の伝播リスクの高い牛を摘発するための多検体処理診断法の開発
 4. 畜産物を探知するためのおいセンサーの評価
 5. 栽培用種苗中の未承認遺伝子組換え体の迅速検査法の開発
 6. 被覆を必要とする農薬の使用時におけるリスク低減に関する研究公募期間：2021年1月28日～3月16日
- ・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構：「国際競争力強化技術開発プロジェクト」
http://www.naro.affrc.go.jp/project/research_activities/laboratory/naro/137977.html
分野等：
 1. 革新的スマート農業技術開発
 - 1) 新たなスマート農業技術開発
 - 2) 革新的営農支援モデル開発
 2. 輸出促進のための新技術・新品種開発公募期間：2021年1月15日～2月15日
- ・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター：「令和3年度イノベーション創出強化研究推進事業」
<http://www.naro.affrc.go.jp/laboratory/brain/innovation/H30/koubo/R03.html>
分野等：従来の常識を覆す革新的な技術・商品・サービスを生み出していくイノベーションの創出に向け、「知」の集積と活用の場による研究開発を重点的に推進する提案公募型の研究開発事業「イノベーション創出強化研究推進事業」を推進することとし、公募により研究を委託する。
公募期間：2021年1月12日～2月12日
- ・林野庁：「木材需要の創出・輸出力強化対策のうち「地域内エコシステム」推進事業のうち「地域内エコシステム」技術開発・実証事業」
https://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/03koubo_1/03mhk0109.html
分野等：地域の森林資源の持続的な活用を図る「地域内エコシステム」の構築に資する木質バイオマスのエネルギー利用システム（小規模な熱利用や熱電併給等）の普及に必要な小規模な技術開発・改良、実証等（特に、木質バイオマスのエネルギー利用の低コスト化に資する取組）を行う。
公募期間：2021年2月1日～3月1日
- ・林野庁：「森林技術国際展開支援事業」
https://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/03koubo_1/03mhk0116.html
分野等：民間企業等が持つリモートセンシング技術や森林整備・治山技術を、途上国の防災・減災等の機能強化に展開できる体制の構築に向けて、課題等の調査分析や、それら技術を効率的に適用するための手法の開発、事業成果普及のための国際ワークショップの開催を実施する。
公募期間：2021年2月1日～3月1日

- ・林野庁：「花粉発生源対策推進事業」
https://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/03koubo_1/03mhk0120.html
分野等：花粉症の主な原因とされるスギ・ヒノキ林を花粉の少ない森林へ転換していくために、花粉症対策苗木等への植替えやスギ花粉症対策品種の円滑な生産支援、スギ花粉飛散防止剤の実用化、花粉飛散量予測の精度向上など総合的な取組を推進するとともに、その成果を広く普及する。
公募期間：2021年2月1日～3月1日
- ・林野庁：「林業イノベーション推進総合対策のうち早生樹等優良種苗生産推進対策のうちエリートツリー等の原種増産技術の開発事業」
https://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/03koubo_1/03mhk0126.html
分野等：
 1. スギ等の増殖技術の高度化と実用化
 2. カラマツの増殖効率の改善
 3. 早生樹の増殖技術の高度化と実用化
 4. 無花粉スギの生産・増殖効率の改善公募期間：2021年2月1日～3月1日
- ・林野庁：「林業イノベーション推進総合対策のうち戦略的技術開発・実証事業」
https://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/03koubo_1/03mhk0129.html
分野等：従来の林業作業機械の開発に加え、林内作業の省人化・効率化・軽労化や安全性の向上に向けた、1. AI やロボット、林内通信、電化技術、マシンガイダンス等の先端技術等を活用した機械・新技術の開発・実証及び2. ドローン・GPS や AR (拡張現実)、ICT 等を活用したソフトウェア等の開発・実証に対して支援する。また、3. 木材や森林由来の再生可能資源・生分解資源によるプラスチック代替や温室効果ガス排出抑制等に資する新素材の開発・実証に対して支援する。
公募期間：2021年2月1日～3月1日
- ・水産庁：「令和3年度漁場環境改善推進事業のうち栄養塩、赤潮・貧酸素水塊に対する被害軽減技術等の開発」
https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/210125_su_akashio.html
分野等：栄養塩が一次生産を通じてより高次の水産資源に与える影響を調査し、水産資源の回復に向けた栄養塩管理のための物質循環モデルを構築し、適正な栄養塩管理方針の検討に資することを目的とする。また、赤潮については、広域共同モニタリングによる監視体制の強化、モニタリング技術や予察技術、防除技術等の研究開発を行うことにより有害鞭毛藻赤潮や冬季の珪藻赤潮に対処することを目的とする。貧酸素水塊については、漁業被害を軽減するための予察技術や防除技術の研究開発を行うことにより対処することを目的とする。
公募期間：2021年1月25日～2月25日
- ・水産庁：「令和3年度スマート水産業推進事業のうちスマート水産業推進基盤構築委託事業」
https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/210125_smartkiban.html
分野等：「スマート水産業」の推進に向けて、生産から流通にわたる多様な場面で得られるデータを相互に連携・共有・活用する「データのフル活用」を目指すため、水産業において「データのフル活用」の具体的な事例を示すことを目的としてユースケースを想定した実証を行うとともに、その取組を実施するための環境整備を行う。
公募期間：2021年1月25日～2月25日
- ・水産庁：「令和3年度スマート水産業推進事業のうち漁獲情報デジタル化推進委託事業（標本船によるデータ収集体制の強化及び画像解析技術開発部分）」
https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/210125_hyouthonsen.html
分野等：ICT などの先端技術を有効に活用し、沿岸漁船から操業位置、魚種、漁獲量、網入れ回数等を直接収集し、これらのデータを資源評価へ活用するとともに、漁獲物の取扱いが多い大規模な市場において、資源管理を行っていくうえで重要とされる魚種の生物データを画像解析により効率的にデータ収集し、資源評価の解析に利用していくことを可能とするための教師データの収集・画像解析技術の開発・実証を行う。
公募期間：2021年1月25日～2月25日
- ・水産庁：「令和3年度スマート水産業推進事業のうち漁獲情報デジタル化推進委託事業（漁獲報告システム構築部分（近海かつおまぐろ漁業のデータ収集ツール開発部分は除く））」
https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/210125_gyokakuhokoku.html
分野等：改正漁業法に基づき義務化された漁獲報告等を適切に実施するため、産地市場・漁協等を経由して提供される水揚げ情報（水揚げ量・規格等）及び漁業者から提供される操業情報（操業位置・漁獲努力量）を、電子的かつ一元的に収集・集約することを可能とするシステムを構築する。
公募期間：2021年1月25日～2月25日

- ・水産庁：「令和3年度ウナギ種苗の商業化に向けた大量生産システムの実証事業」
https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/20210125_unagi_system.html
分野等：工学等異分野の技術の導入や産学官での連携を行い、これまでの実証事業で得た技術開発の成果を踏まえ、①仔魚の生残率の向上、②再現性の向上、③省力化・省コスト化等の実証試験に取り組み、ウナギ種苗を大量生産する際に必要な知見を得る。
公募期間：2021年1月25日～2月25日
- ・水産庁：「令和3年度スマート水産業推進事業のうち漁獲情報デジタル化推進事業かつお・まぐろ漁業用操業データ入力用アプリケーション設計・開発」
<https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/210126katsuomaguroapp.html>
分野等：責任ある漁業国・市場国として、地域漁業管理機関の資源管理措置に基づく漁獲割当量を遵守するため、先端技術を導入し、生産者等の事務的負担を減らしつつ、水揚げ・操業情報等のデータをこれまで以上に大量かつ迅速に収集することにより、かつお・まぐろ資源の持続的な利用と、国民へのかつお・まぐろの安定供給を確保していく。
公募期間：2021年1月26日～2月25日
- ・水産庁：「令和3年度スマート水産業推進事業のうち数量管理システム事業のうち国際資源の漁獲情報包括管理事業のうち漁獲成績報告の実装・集計」
<https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/210126gyoseki.html>
分野等：責任ある漁業国・市場国として、地域漁業管理機関の資源管理措置に基づく漁獲割当量を遵守するため、漁業の許可及び取締り等に関する省令に基づき提出される漁獲成績報告書の迅速かつ確実な集計を実施することにより、かつお・まぐろ資源の持続的な利用をと、国民へのかつお・まぐろの安定供給を確保していく。
公募期間：2021年1月26日～2月25日
- ・水産庁：「令和3年度漁場環境改善推進事業のうち赤潮及び貧酸素水塊の広域自動モニタリング技術の開発」
https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/hozyo/210204_se28.html
分野等：赤潮・貧酸素水塊の発生状況の適切な把握と予察のため、水温、塩分、クロロフィル、濁度、溶存酸素などを広く観測できる連続観測装置の開発を行うとともに、広域の水質データを効率的に収集・公表するシステムの開発を支援する。
公募期間：2021年2月4日～19日
- ・水産庁：「令和3年度漁場環境改善推進事業のうち栄養塩からみた漁場生産力回復手法の開発」
https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/hozyo/210204_se27.html
分野等：ノリ等の海藻養殖が行われる冬季には、ケイ藻赤潮等により栄養塩が不足し、ノリやワカメ等の色落ち被害が発生することから、ノリ等の海藻養殖場の海域において、適正な栄養塩供給手法の開発などを支援する。
公募期間：2021年2月4日～19日
- ・水産庁：「令和3年度環境規制適応型冷凍技術開発実証事業」
https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/hozyo/210204_se23.html
分野等：漁船において、フロン冷媒に代わる自然冷媒や地球温暖化係数450以下の新冷媒による超低温冷凍システムの開発に対して支援することにより、水産業の経営体質強化を図る。
公募期間：2021年2月4日～19日
- ・水産庁：「令和3年度定置網漁業等における数量管理のための技術開発事業」
https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/hozyo/210204_se17.html
分野等：定置網漁業等において、小型魚等の混獲の回避や、魚種選択性を向上させる技術開発を行い、これらの技術の普及を促進する。
公募期間：2021年2月4日～19日
- ・水産庁：「令和3年度新技術開発事業」
https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/hozyo/210204_se13.html
分野等：従来より実施している目視調査を補完し、効率的かつ効果的な鯨類資源の管理方策の策定に資するための鯨類資源調査に係る音響調査や環境DNA調査等の新技術の開発を支援する。
公募期間：2021年2月4日～19日
- ・水産庁：「令和3年度スマート水産業推進事業のうちICTを利用した漁業技術開発事業」
<https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/210208.html>

分野等：ICT を活用して操業に必要な情報を提供する操業支援技術の効果を実証し、その成果を普及することにより、沿岸漁業の資源管理の推進とスマート化による経営安定化、若手漁業者の育成等を推進する。

公募期間：2021年2月8日～25日

- ・水産庁：「令和3年度有明海のアサリ等の生産性向上実証事業のうちアサリ母貝生息適地造成技術開発及び貧酸素水塊軽減技術開発事業」

https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/210208_16.html

分野等：

1. 高地盤覆砂域の造成等による母貝生息適地の造成技術開発
2. カキ礁の造成による貧酸素水塊の軽減技術開発 等

公募期間：2021年2月8日～25日

- ・水産庁：「令和3年度有明海のアサリ等の生産性向上実証事業のうち基質入り網袋、カゴ等を用いた稚貝育成技術開発及びアサリ稚貝の高密度着生・集積域からの移植技術開発事業」

https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/210208_15.html

分野等：

1. 基質入り網袋、カゴ等を用いた稚貝育成技術開発
2. アサリ稚貝の高密度着生・集積域からの移植技術開発 等

公募期間：2021年2月8日～25日

- ・水産庁：「令和3年度有明海のアサリ等の生産性向上実証事業のうち技術検討・評価・普及等事業」

https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/210208_14.html

分野等：アサリ等の生産性向上のための事業として、母貝生息適地の造成及びカキ礁の造成による貧酸素水塊の軽減、稚貝育成及び移植にかかる技術検討・評価・普及等事業を行う。

公募期間：2021年2月8日～25日

- ・水産庁：「令和3年度さけ・ます等栽培対象資源対策事業」

https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/210208_sakemasusaibai.html

分野等：

1. 新規栽培対象種技術開発（魚類）
2. 新規栽培対象種技術開発（二枚貝）
3. さけ・ますふ化放流抜本対策

公募期間：2021年2月8日～25日

- ・水産庁：「令和3年度厳しい環境条件下におけるサンゴ礁の面的保全・回復技術開発実証委託事業」

https://www.jfa.maff.go.jp/j/seibi/210208sango_nyusatsu.html

分野等：

1. サンゴ礁への幼生供給力を高める面的な保全・回復技術の開発
2. 海洋環境等変化に順応できるサンゴの開発

公募期間：2021年2月8日～25日

- ・水産庁：「令和3年度養殖業成長産業化技術開発事業」

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/gizyutsukaihatsu.html>

分野等：

1. 養殖魚の低価格・高効率飼料の開発
2. 水素細菌を原料とする純国産養魚飼料開発
3. スジアラ用高効率飼料の開発
4. サーモン養殖推進技術開発
5. 養殖業の成長産業化のための優良系統の開発
6. 環境変化に適応したノリ養殖技術の開発

公募期間：2021年2月8日～25日

- ・水産庁：「令和3年度農林水産分野における持続可能なプラスチック利用対策事業(漁業における海洋プラスチック問題対策事業のうちリサイクルしやすい漁具の検討)」

https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/210208_recycle.html

分野等：素材別に分解・分別しやすい設計の漁網等、リサイクルの推進を念頭に置いた漁具の開発に向けた検討を行う。

公募期間：2021年2月8日～3月1日

・水産庁：「令和3年度農林水産分野における持続可能なプラスチック利用対策事業（漁業における海洋プラスチックごみ問題対策事業のうち海洋プラスチックを摂食した魚介類の生態的情報等の調査）」
https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/210208_microplastic.html
分野等：マイクロプラスチックを摂食させた魚介類体内におけるマイクロプラスチックの挙動の解明や、マイクロプラスチックに吸着させた有害化学物質の魚介類消化管内における溶出量の推定等を行う。
公募期間：2021年2月8日～3月1日

・JST：「令和2年度産学共同実用化開発事業 NexTEP 一般タイプ」
<https://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu.html>
分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、開発リスクを伴う規模の大きい開発を支援。
公募期間：2020年3月31日～2021年3月31日（第3回）

・JST：「令和2年度産学共同実用化開発事業 NexTEP 未来創造ベンチャータイプ」
<https://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu.html>
分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、原則として設立後10年以内の企業が行う、開発リスクは高いが未来の産業を創造するインパクトが大きい開発について支援。
公募期間：2020年3月31日～2021年3月31日（第3回）

・JST：「令和2年度研究成果最適展開支援プログラム A-STEP 企業主体（返済型）」
<https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html>
分野等：大学等の研究成果・技術シーズに基づく企業主体による実用化開発を行う。第3回募集（12/1～3/31）限定において「with/post コロナ対応枠」を設けて公募を行う。
公募期間：2020年3月31日～2021年3月末（第3回）

・JST：「e-ASIA 共同研究プログラム 令和3年度採択『材料』分野、『環境』分野 共同研究課題募集」
https://www.jst.go.jp/inter/program/announce/announce_easia_jrp_10th.html
分野等：
1. 材料分野：「マテリアルズ・インフォマティクス」
2. 環境分野：「海洋科学と気候変動」
公募期間：2020年12月15日～2021年3月29日

・NEDO：「2021年度NEDO先導研究プログラム/新技術先導研究プログラム」
https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100294.html
分野等：我が国がエネルギー・環境分野の中長期的な課題を解決していくために必要となる技術シーズ、特に既存技術の延長とは異なる、飛躍的なエネルギー効率の向上を含む脱炭素社会の実現に資する有望な技術の原石を発掘し、将来の国家プロジェクト等に繋げていくことを目的とする。
公募期間：2020年12月25日～2021年2月12日

・NEDO：「2021年度研究開発型スタートアップ支援事業/シード期の研究開発型スタートアップに対する事業化支援（第1回公募）」
https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100293.html
分野等：具体的な技術シーズを活用した事業構想を持ち、NEDO認定VCより、NEDOに申請する助成対象費用の1/3以上の金額の出資を受けるSTS（シード期の研究開発型スタートアップ：Seed-stage Technology-based Startups）に対してNEDOは助成する。助成対象経費は技術シーズの事業化に必要な経費（実用化開発、企業化可能性調査等）。
公募期間：2021年1月25日～3月4日

■民間等

・公益財団法人山田科学振興財団：「2021年度研究援助」
https://yamadazaidan.jp/jigyo/bosyu_kenkyu.html
分野等：自然科学の基礎的研究
公募期間：2020年10月1日～2021年2月28日

・一般財団法人糧食研究会：「2021年度研究テーマ募集」
<https://www.ryouken.or.jp/josei/index.html>
分野等：食品機能（一次、二次、三次機能等）、食品評価（おいしさ、物性・食感等）、食品設計・加工技術、食品安全、腸内細菌叢などに関する研究
公募期間：2020年10月16日～2021年2月26日

- ・公益財団法人タカノ農芸化学研究助成財団：「2021 年度研究助成」

<http://www.takanofoods.co.jp/company/foundation/subsidy.shtml>

分野等：

1. 豆類や穀類の生産技術（栽培、育種、植物栄養、根圏微生物等）に関する研究
2. 豆類や穀類、並びにそれらの加工品の食品機能（栄養機能、嗜好機能、生体調節機能等）に関する研究
3. 豆類や穀類の加工、保蔵、流通技術に関する研究、並びにそれらの発酵に関連する微生物や酵素の探索、特性、利用に関する研究

公募期間：2021 年 1 月 15 日～3 月 10 日

- ・一般財団法人金森財団：「2021 年度研究助成」

<http://www.kanamori-foundation.or.jp/kenkyu.html>

分野等：電気電子工学、光学関連、機械工学、化学関連、医療機器関連、環境・エネルギー関連、材料工学、農学（機能性食品等）

公募期間：2021 年 1 月 4 日～4 月 20 日

- ・一般財団法人東洋水産財団：「2021 年度学術奨励研究」

<http://toyosuisanzaidan.or.jp/academic/index.html>

分野等：

1. 食品の加工・保蔵に関する研究
2. 食品の安全性に関する研究
3. 食品の機能性に関する研究
4. 食品または水産分野におけるバイオテクノロジーに関する研究
5. 食品の未利用資源（または廃棄物）の有効利用に関する研究
6. その他食品科学に関する研究 等

公募期間：2020 年 12 月 17 日～2021 年 3 月 25 日

- ・公益財団法人武田科学振興財団：「2021 年度ライフサイエンス研究助成」

<https://www.takeda-sci.or.jp/assist/lifescience.html>

分野等：生命科学分野の進歩・発展に貢献し、人類の健康増進に寄与する独創的な研究

公募期間：2021 年 1 月 6 日～3 月 15 日

- ・公益財団法人武田科学振興財団：「2021 年度生命科学研究助成」

<https://www.takeda-sci.or.jp/assist/life.html>

分野等：生命科学分野における新たな発見に貢献し、当該分野の進歩・発展の基盤となる独創的な研究

公募期間：2021 年 1 月 6 日～3 月 22 日

- ・公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団：「2021 年度 試験研究助成」

<https://www.krf.or.jp/category/guide/research>

分野等：エネルギー・リサイクル分野 等

公募期間：2021 年 1 月 6 日～8 月 31 日

- ・公益財団法人三島海雲記念財団：「2021 年度学術研究奨励金（自然科学部門）」

<https://www.mishima-kaiun.or.jp/assist/natural-science.html>

分野等：食の科学に関する学術研究

公募期間：2021 年 1 月 12 日～2 月 26 日

- ・造船学術研究推進機構：「2021 年度研究テーマ募集」

<https://www.sajn.or.jp/redas/>

分野等：

1. 造船・船舶関連テーマ
 - 1) 船舶の燃費低減に関連する研究
 - 2) 海洋の環境保全に関連する研究
 - 3) 船舶の安全航行に関連する研究
 - 4) 船体構造の合理化および長寿命化に関連する研究
 - 5) 船舶建造の合理化に関連する研究
2. 海洋技術関連テーマ
 - 1) 海洋エネルギー資源（メタンハイドレート、洋上風力発電等）の開発に関連する研究

- 2) 海洋環境保全システムの開発に関連する研究
- 3) 低炭素型シームレス物流システムの開発に関連する研究
3. その他関連テーマ船舶・海洋に関連する先端技術の基礎的研究（造船・海運分野の産業基盤を強化する新規性の高い応用的研究を含む）

公募期間：2021年1月15日～3月5日

- ・特定非営利活動法人酵母細胞研究会：「地神芳文記念研究助成金 2021年度募集」
<http://www.yeast.umin.jp/fy2021jigami-fund.html>
分野等：酵母に関する生物科学的研究であれば基礎あるいは応用の別を問わない。また、糖鎖に関する研究は生物種を問わず、基礎あるいは応用の別を問わない。
公募期間：2021年1月18日～4月16日
- ・公益財団法人戸部眞紀財団：「2021年度（令和3年度）研究助成」
<https://tobe-maki.or.jp/grant/>
分野等：化学、食品科学、芸術学/デザイン学、体育学/スポーツ科学、経営学
公募期間：2021年1月27日～4月20日
- ・公益財団法人日本生命財団：「2021年度ニッセイ財団 環境問題研究助成」
<http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kankyo/02.html>
分野等：人間活動と環境保全との調和に関する研究
公募期間：2021年2月1日～4月5日
- ・公益財団法人 荏原 昌山記念文化財団：「2021年度研究助成」
<http://www.ebara.co.jp/csr/foundation/topics.html>
分野等：環境・エネルギー・バイオマス 等
公募期間：2021年1月29日～3月18日
- ・一般財団法人水源地環境センター：「令和3年度 WEC 応用生態研究助成」
<http://www.wec.or.jp/support/season/index.html>
分野等：ダム貯水池に係わる生態系・水環境（上下流・周辺を含む）に関する研究
公募期間：2021年2月9日～4月5日

【研究開発関連以外】

■省庁等

- ・経済産業省：「令和3年度 産学融合拠点創出事業（産学融合先導モデル拠点創出プログラム）」
<https://www.meti.go.jp/information/publicoffer/kobo/2021/k210112003.html>
分野等：広域な地域ブロックにおいて、複数の大学と公的研究機関・産業支援機関、そして企業、経済団体、金融機関、ベンチャーキャピタルなどの投資機関、さらに地方自治体などを含めたマルチステークホルダーによる産学官連携のネットワーク創設及びネットワークから生み出される産学融合の研究開発・事業創出の取組を加速化させるため、創出エリア支援型を公募する。
公募期間：2021年1月12日～2月16日
- ・ものづくり・商業・サービス補助金事務局（全国中小企業団体中央会）：「令和元年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（一般型・グローバル展開型）（5次締切分）」
<https://portal.monodukuri-hojo.jp/about.html>
分野等：中小企業・小規模事業者等が今後複数年にわたり相次いで直面する制度変更（働き方改革や被用者保険の適用拡大、賃上げ、インボイス導入等）等に対応するため、中小企業・小規模事業者等が取り組む革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援する。
公募期間：2021年2月2日～19日